



建交労



2020年2月3日
建交労神奈川県南支部

2020年春闘No.6

2019年度推進ニュース⑰通算176号

発行責任者 佐藤 章

三昭運輸分会が20春闘と争議勝利へ 神奈川県本部委員会で決意を表明！

建交労神奈川県本部は2月2日に第41回委員会を横浜市内の神奈川公会堂で開催し2020春闘方針を決定しました。神奈川県南支部からは県本部の大島副委員長（支部書記長）、清野執行委員（支部副委員長）の他、県本部委員とし佐藤章委員長、小島副委員長、佐藤貴司執行委員、須田執行委員、赤羽特別執行委員、三昭運輸分会の北川書記長と山崎執行委員の合わせて9名が出席しました。

委員会は「新型コロナウイルスの予防対策などに触れた」大島副委員長の開会あいさつではじまり、



県本部の20春闘方針を提案する高橋書記長



20春闘への決意を表明する山崎委員

県南支部の佐藤貴司委員が議長として進行、伊藤東一委員長は主催者挨拶で、2020年春闘では統一要求とともにすべての労働者を視野に入れた職場要求の大切さを強調、また安倍政権が自衛隊の中東派遣を強行するなかで“新署名—安倍9条改憲NO—改憲発議に反対する全国緊急署名”を特別に重視するよう呼びかけました。つづいて高橋英晴書記長が秋年末闘争の報告と神奈川県本部の2020年春闘方針を提案して討論に入りました。

討論では県南支部三昭運輸分会の山崎委員が“インフルエンザや新型コロナウイルスなど感染症に対する特別有給休暇”実現などをめざす決意を表明、つづいて同じ三昭運輸分会の北川委員は、県労委での不当労働行為救済申立闘争が最大の山場を迎えていることを報告し争議の早期全面勝利解決に向けて改めて分会の団結強化を決意すると同時に仲間の大きな支援を呼びかけました。このあと神奈川ダンプ支部メイショク分会、鉄道神奈川本部、川崎学童保育指導員支部の仲間が春闘への決意を表明、高橋書記長のまとめを含む2020春闘方針案を満場一致で採択し委員会を閉会しました。



争議勝利の決意を表明する北川委員